



# オーストラリア直送レポート

**Vol.6** 2018.8.17 最後の登校日

- ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課・井口  
吉備中学校・田中
- パーマストーン校・ローズベリー校グループ／教育委員会社会教育課・松場  
八幡中学校・島田

## ドリップストーン校グループ

ついに、最後の登校日を迎えました。今日は研修生自身が、初日に比べてどういう風に成長しているのかと思い、楽しみに学校に向かいました。今日は、学校で授業を受けた後、17時30分からイーストポイントという、浜辺からきれいな夕日が見えるところで、フェアウェルパーティーを行う予定です。朝、学校に行き、研修生たちの部屋に行くと、「今日で学校最後か、早く感じた」という声が聞こえてきました。さらに「来週も登校したい」という声も聞こえてきました。研修生たちはこの数日間の中に、学校の雰囲気馴染み、楽しんでいるのだと思うと、非常に嬉しくなりました。しばらくして、1時間目が始まりました。1時間目は、2班に分かれて体育をしました。一つの班は、バスケットボールでもう一方は体育館で、しっぽとりやボール当てをしました。バスケットボールでは、研修生と現地の生徒が混ざってチームになり、試合をしました。現地の生徒や先生が気を配ってくださり、研修生たちのところに頻りにパスを回してくれました。そのおかげで、研修生たちも自らパスを呼ぶようになったり、積極的に交流することができました。体育館では、しっぽとりや、ボール当てが行われました。今回初めて一緒に授業をする現地の生徒たちが多かったのですが、言葉があまり通じなくても、スポーツを通してコミュニケーションをとることができました。



次の時間は音楽でした。始めに、現地の生徒たちがバンドで2曲披露してくれました。そのあと、お返しに、研修生たちも日本の曲を2曲披露しました。前もって、披露するとは知らされていませんでしたが、堂々とした表情で日本の曲を歌っており、非常に感心し、彼らの成長を感じました。その後研修生たちは、ボーカル、キーボード、ドラム、ギターに分かれて、現地の生徒に演奏の仕方を教えてもらいました。各部屋を除いてみると、生徒たちどうして、楽しく演奏や合唱を楽しんでおり、研修生たちから、どうすればうまくできるのか聞いている場面もありました。次に、クッキングの授業をしました。昼のフェアウェルランチで食べる物を、現地の生徒たちと研修生と一緒に作りました。様子を見ていましたが、分からないことがあれば、現地の生徒や先生に聞き、作業を進めていました。初日は分からないことがある度に、引率教師や私の方を見ていましたが、この数日で確実に成長していることが分かり、嬉しくなりました。フェアウェルランチでは、多くの現地の生徒たちが来てくれて、研修生たちの作った料理を、おいしそうに食べていました。



その後、ドリップストーン校の校長先生から、一人一人プレゼントを受け取り、学校での研修は終了しました。研修生たちは、ドリップストーン校で様々な体験をし、かけがえのない経験をさせていただきました。これも、現地の先生、生徒、ホストファミリーの方々が、研修生に対して、親切に向き合ってくださいましたおかげだと思います。研修生たちも、感謝の気持ちを感じていることと思います。学校が終わり、17時30分からイーストポイントで、フェアウェルパーティーを行いました。食事をしたり、一緒に遊んで

いる様子を見ていると、始め消極的だった研修生たちの姿はなく、本当の友達や家族のように見えました。そこで、改めてホストファミリーをしてくださった方々にお礼を言うと「良い子でした」「丁寧で優しい子でした」という答えが返ってきて、有田川町の代表として、彼らが選ばれたことに、誇らしく思いました。今後、この研修で学んだ事を、それぞれの人生で生かしてほしいと思います。どう生かすかは、それぞれ違うと思いますが、研修生たちが、この研修で学んだことをうまく生かせるように、帰国してからの事後研修で、しっかりとサポートしたいと思います。9月にはドリップストーン校の13名が有田川町にやってくる予定です。研修生たちには、率先してドリップストーン校の生徒たちのサポートをしてくれることを期待します。(井口)

学校での研修を無事終わりました。日本語で話しかけているのに英語で答えが返ってくる子もいます。積極的に動いているなという感想です。学校最後の日、自分がこれを学んだなという実感を持ちたいねと話しました。彼らにも自覚があったと思います。「日々の成長が楽しいですね」と井口さんに言ってもらえました。みんなにも教えてあげたかったなと思いました。学校の仲間よりも特別な経験をできたことを、彼らの今後はどう生かしてくれるか、また、みんなに伝えていけるか、とても楽しみです、期待したいと思います。今日、音楽の授業で、お互いの表現を披露しました。「やってみる！」と歌えたり、演奏したりできました。こんな力があるんだと私も驚き、拍手をたくさん頂きました。アニメや音楽、食べ物(一緒に調理実習しました)、共通の興味や笑顔から、言葉以上の交流ができることを体感できたと思います。授業をしてくださった先生方の細やかな配慮にも、本当に感謝をいたします。

9月に来日してくださった時、お世話になった方々、生徒の皆さんにもお返しができたらと思います。吉備中学校のみんなも、そんな気持ちでいてくれるでしょう。ドリップストーンの先生方の生徒の皆さんへの真剣な向き合い方、指導法にも、多くを学びました。私も2学期、気を引き締めてやっていこうと思います。自分の担当している生徒の皆さんと行かせて頂き、ありがとうございました(田中)



## パーマストン校・ローズベリー校グループ

今日はパーマストンカレッジ(10～12年生)に登校できる最後の日です。(※本年度より、ローズベリーミドルスクールとパーマストンシニアハイスクールは既存の校舎はそのままにして合併して新しくパーマストンカレッジとなりました。) 本日の予定は、午前中は学校での授業、そしてフェアウェルパーティー、午後はパーマストン市役所を表敬訪問および市長との面会、そして参加可能な生徒たちは、ホストファミリー達とのお別れBBQとのことでした。

まずは全校集会に参加しました。その後、3つのグループに分かれて歴史、地理、差別、クッキングなどの授業に参加しました。特に、今回の研修をコーディネートしてくれたアニータ先生のクッキング授業はユーモアがあって楽しい授業でした。10～12年生校舎は、年齢が研修生より高い年齢であるため、落ち着いた生徒が多い印象でした。授業内容に関しては日本では馴染みのない教科もあって少し難しく感じました。8時20分に始まった授業も12時35分になりあっという間に終わりました。



その後、全員集合してフェアウェルパーティーが行われました。ワラビーとポッサムの赤ちゃんに会えるサプライズが用意されていて抱っこをしてミルクやサツマイモをあげたりして子どもたちは大喜びでした。パーティにはパーマストンカレッジの生徒たちも参加しました。サンドイッチやクッキー、ミートパイ、フルーツがたくさん用意されており、自己紹介ゲームをしたり盛大なパーティーでした。最後にSuehealy校長先生からひとり一人に修了証とプレゼントが渡されました。



その後、パーマストン市役所までスクールバスで移動しました。パーマストン市役所では市長と面会して記念撮影をしました。その後、研修生たちにサンドイッチやフルーツが提供され、はじめは緊張した表情を浮かべていた子どもたちでしたが、満面の笑みで頬張る様子が見られました。市長との面会を終えた研修生たちは、スクールバスにてパーマストンカレッジまで移動しました。夜はパーマストンカレッジにて参加可能な研修生とホストファミリーを交えた夕食会が行われて一日を終えました。（松場）



今日はパーマストンカレッジで過ごす最終日。朝から4つのグループに分かれて授業を受けました。10～12年生のクラスの授業だったので少し難しそうでしたが、それぞれ積極的に授業に参加できていました。お昼はお別れ会をして頂き、校長先生から1人ずつ修了証をと絵本をいただきました。その後団長、副団長からみんなを代表して感謝の言葉を述べてもらいました。校長先生をはじめ、たくさんの人の前でちょっぴり緊張しながらも堂々と英語でスピーチできていて素晴らしかったです。その後はランチを戴きながら日本語の授業を受けている生徒や生徒会の皆さんと自己紹介しあいながら楽しく交流しました。ランチタイムには一人の先生が家で保護して育てているワラビーの赤ちゃんとポッサムの赤ちゃんを連れてきてくれたので一段と皆のテンションも上がりました。それはそれはかわいくて、皆それぞれ手にのせたり抱っこしたり、大騒ぎでした。ランチの後は市長さんを訪問しました。パーマストン市と友好を結んで10年。市長室の横には10年の歴史を感じさせる贈り物の数々が並べられていました。市長さんは公式の場で着られる衣装をつけて出て来て下さり、挨拶だけでなく皆と写真を撮ったり、皆からの質問に答

えて下さったりとても優しく接してくださいました。夕方6時ごろからホストファミリーのほとんどが集まったディナーパーティーを学校が企画してくださいました。今年初めての企画でうまく連絡がつかないホストファミリーがいて全部とはいきませんでした。それぞれの家族や今回この研修でお世話になった先生方やその家族が集まりカンガルーの肉やフルーツ、チーズなど美味しいディナーを戴きながら楽しいひと時を過ごしました。ホストファミリーでもあり学校でも今回この研修のお手伝いの中心になって下さったアニータ先生はこのディナーのほとんどの料理を準備してくれました。アニータ先生はバスの運転から授業など全てにわたり私たちに心のこもった温かいおもてなしをして下さいました。お世話になったホストファミリーの皆さん、先生方、生徒の皆さんに感謝の気持ちいっぱいになった学校での最後の夜でした。皆さん本当にありがとうございました。(島田)